

告白 (1970)

L' AVEU

THE CONFESSION [米]

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス/イタリア

色彩 Color

時間 136分

初公開日 1971/03/04

公開情報 WB

【キャッチコピー】

人間の自由と尊厳がこれほどまで踏みにじられたことがあったか！鉄のカーテンに閉ざされた 〈真昼の暗黒〉 == 人間の復権に挑んだ鬼才の問題作！

【解説】

この作品は、51年にチェコスロヴァキアで起こったスランスキー事件を体験した夫妻の共著『告白』を映画化したものだ。スランスキー事件とは、当時チェコ共産党の高官だったアルトゥール・ロンドンほか14名が突然逮捕され、22カ月間監禁拷問され、身に覚えのない反逆行為の“自白”を強要されたあげく、裁判によって断罪された事件である。妻リーズは、突然の夫の失踪に何とか安否を尋ね廻るが、全く解らなかった。やがて突然に職場を追われ、事件が公表されると、党の為に公式に夫を否定しなければならなくなる……。

この急進的なスターリン主義者たちの策謀によって“自白”にサインした11名は死刑、アルトゥールを含めわずか3名が死刑を免れ終身刑となった。アルトゥールの名誉が回復されたのは、4年後の56年のことである。主人公の夫妻を実生活でも夫婦であるイヴ・モンタン（役名ではジェラルド）とシモーヌ・シニョレが演じた。製作に当たっては“プラハの春”の時期にあたりチェコとの合作になる予定だったが、68年に多くの映画人の亡命者を出したことで知られる動乱で断念を余儀なくされ、映画のエピローグとしてソ連の軍事介入の痛烈な批判が付け加えられた。なお、スチル写真はクリス・マルケルが撮影。コスタ＝ガブラスの“伝統的な娯楽映画のテクニックを偽装し、利用しつつ、その政治性を大衆に到達させる試み”は、ここでも絶大な効果をあげている。

【クレジット】

監督 コンスタンタン・コスタ＝ガヴラス Constantin Costa-Gavras

製作 ロベール・ドルフマン Robert Dorfmann

ベルトラン・ジャバル

原作 アルトゥール・ロンドン

リーズ・ロンドン

脚本 ホルヘ・センプラン Jorge Semprun

撮影 ラウル・クタール Raoul Coutard

出演 イヴ・モンタン Yves Montand

シモーヌ・シニョレ Simone Signoret

ガブリエル・フェルゼッティ Gabriele Ferzetti

ミシェル・ヴィトルド

ウンベルト・ラオ Umberto Raho

アントワーヌ・ビテ

クロード・ベルニエール

モーリス・ジャックモン

モンコル・ピエール

ジョルジュ・オーベール